

(様式2)

議員行政視察報告書

議員名	石川厚子
視察地	富山市
視察年月日	令和8年1月27日
視察内容（目的・具体的内容・成果等）	
富山市ガラス美術館及び富山市立図書館本館 ～ニューヨークタイムズが選んだ「2025年に行くべき52か所」に選出された 富山の魅力に迫る～	
1、ガラス美術館と市立図書館設置にかかる経緯	
・平成12年 現在地で営業していた百貨店が移転を公表	
・平成13年 ガラス美術館基本構想策定	
・平成20年 ガラス美術館懇談会が「建設地は中心市街地が望ましい」	
・平成21年 開館から40年余り経過し、老朽化が進んでいた図書館本館の中心市街地での整備を検討	
・平成27年 富山市立図書館本館、富山市ガラス美術館オープン	
2、相乗効果	
・図書館の利用者は市民、ガラス美術館の来館者は観光客が中心	
・図書館に来館された市民にガラス美術館の作品展示に興味を持ってもらったり、ガラス美術館に来館された観光客が図書館のすばらしさを知って、地元でPRしてもらう	
・図書館では、館内にガラス作品を展示し、ガラス美術館と連携したコンサートを行ったこともある	
・あえて駐車場を設けないことにより「公共交通の利用促進」「まちなかの賑わい創出」にも一定の効果	
3、「ガラスの街とやま」の取組	
「ガラスのまちづくり」施策を進めるにあたり①教育②作家の活動支援③鑑賞の場の3施設を整備	
公立では全国で唯一の「ガラス造形研究所」を設置、卒業後は作家として活動したり、美術関係の大学に進学	

4、今後の課題

- ・図書館では様々なイベントを実施し、多くの来館者がある。イベントに合わせて関連する本の展示を行っているが、それがそのまま貸し出し冊数の増加に繋がっていない
- ・竣工から10年が経過し、エレベーター、エスカレーターなど様々な設備の修繕等が必要になってきている

5、現地を視察して

- ・吹き抜けになっている建物の構造に圧倒された
- ・図書館は3階が児童図書フロア、4階が一般図書フロア、5階が参考図書フロアになっており、学習できるスペースが各所に設置されている
- ・書架は免震構造となっていて、能登半島地震の際も、本は落ちたが書架は倒れなかったそうだ
- ・広いスペースにはピアノも設置されており、講演会やコンサートも実施したとのこと
- ・駅前のホテルから電車を利用したが、「路面電車コーナー」には最新の電車やレトロな電車の模型も展示されてた
- ・雑誌コーナーはスポンサーがついて、1年分の雑誌を提供してくれるとのこと
- ・ガラス美術館の原色の作品も素晴らしかった。見ごたえがあった
- ・余談だが、ショップでガラス製品を購入した
- ・ニューヨークタイムズに選出された2025年が終わってしまったので心配していたが、一度は訪問すべき場所だと感じた